

# 本書から国試で予想問題と同じ設問や 選択肢が多数出題されています！

## 第27回柔道整復師国家試験問題（午前問題）

問題 24 顎関節前方脱臼で正しいのはどれか。

国試  
出題例

1. 男子に多く発生する。
2. 関節包が断裂する。
3. 下顎歯列は上顎歯列の後方に転位する。
4. 片側脱臼はオトガイが健側に偏位する。



『絶対出る！柔道整復師国家試験重要問題  
柔道整復学 上肢・体幹編（p.100より抜粋）』

予想問題の解説を読むと  
その詳細が記載されており、  
理解が深まります！

### (1) 顎関節脱臼

ポイント●特徴・分類

予想問題 1-1

顎関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 関節包が破れることが多い。
3. 反復性脱臼になりやすい。
4. 後方脱臼が多い。

1. 男性に比べ、女性は側頭骨の関節窩が浅いため脱臼しやすい。
2. 関節包や外側靭帯が緩く伸張するため、関節包を破ることはほとんどない。
3. 固定は不十分で期間も短いと反復性脱臼になりやすい。肩関節脱臼や膝蓋骨脱臼も反復性脱臼になりやすい。
4. 顎関節脱臼中、前方脱臼が最も多い。後方脱臼はほとんど発生しないまれな脱臼である。

【解答】 3

予想問題 1-3

顎関節前方脱臼の片側脱臼のみにみられる症状はどれか。

1. 関節腔は空虚となる。
2. 弾発性固定される。
3. 開口運動が制限される。
4. オトガイ部は健側へ偏位する。

片側脱臼では口を閉じようとするとオトガイ部は健側へ偏位するが、両側脱臼ではほとんど偏位しない。

【解答】 4